

展示解説シート

平成11年度 特別展「江戸時代の旅と絵馬」

西国三十三箇所観音巡礼

西国三十三箇所観音巡礼は、四国八十八箇所遍路とならぶ代表的な巡礼で、京都を中心に三十三箇所ある観音の霊地を巡拝することです。

三十三という数字は「観音菩薩は三十三の姿に化身して、私たちを助けてくれる」というご利益にちなんだものです。

<西国三十三箇所の歴史>

奈良時代、養老年中、大和国（現奈良県）長谷寺の徳道上人が亡くなり、閻魔大王に会い、「三十三箇所の霊場を巡礼すれば、滅罪のご利益がある。巡礼を世に広めなさい」といわれ石札を渡されて生き返り、摂津国（現兵庫県）中山寺に納めました。その後、65代花山天皇が夢を見たとき、石札の存在を告げられ、河内国（現京都府）仏眼寺の仏眼上人を導師として西国三十三箇所を復興したと伝えられています。

その後、山伏や遊行聖などを中心に西国巡礼は行われ、室町時代末期になると庶民も参加するようになり、江戸時代になるとますます盛んになりました。

関東地方からの旅のモデルコースとしては伊勢神宮から西国三十三箇所を巡り、大坂、奈良、京都を見物、四国の金刀比羅山まで足を伸ばし、帰途に善光寺に参るというもので、清治郎さんもこのコースをたどっています。

<西国三十三箇所>

- | | | | |
|------|------|-------------------------------|--------------|
| 第1番 | 青岸渡寺 | 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町 | |
| | | 那智山青岸渡寺（なちさんせいがんとじ） | 本尊 如意輪観音 |
| 第2番 | 紀三井寺 | 和歌山県和歌山市 | |
| | | 紀三井山金剛宝寺護国院（きみいさんこんごうほうじこくいん） | 本尊 十一面観音 |
| 第3番 | 粉河寺 | 和歌山県那賀郡粉河町 | |
| | | 風猛山粉河寺（ふうもうざんこかわでら） | 本尊 千手千眼観音 |
| 第4番 | 槇尾寺 | 大阪府和泉市 | |
| | | 槇尾山施福寺（まきのおさんせふくじ） | 本尊 十一面千手千眼観音 |
| 第5番 | 葛井寺 | 大阪府藤井寺市 | |
| | | 紫雲山葛井寺（しうんざんふじいでら） | 本尊 十一面千手千眼観音 |
| 第6番 | 壺阪寺 | 奈良県高市郡高取町 | |
| | | 壺阪山南法華寺（つばさかさんみなみほっけじ） | 本尊 十一面千手観音 |
| 第7番 | 岡寺 | 奈良県高市郡明日香村 | |
| | | 東光山龍蓋寺（とうこうざんりゅうがいじ） | 本尊 如意輪観音 |
| 第8番 | 長谷寺 | 奈良県桜井市 | |
| | | 豊山長谷寺（ぶざんはせでら） | 本尊 十一面観音 |
| 第9番 | 南円堂 | 奈良県奈良市 | |
| | | 興福寺南円堂（こうふくじなんえんどう） | 本尊 不空羅索観音 |
| 第10番 | 三室戸寺 | 京都府宇治市 | |
| | | 明星山三室戸寺（みょうじょうざんみむろとじ） | 本尊 千手観音 |
| 第11番 | 上醍醐 | 京都府京都市伏見区 | |

